

## 製品安全データシート

整理番号 MSDS V-320

改訂 平成14月10月1日

## 1. 化学物質等及び会社情報

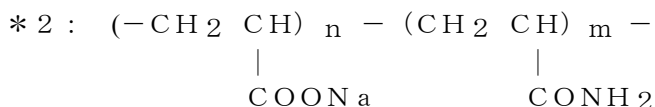
製品名 (化学名・商品名等) : ハイモロックV-320

会社	ハイモ株式会社	品川区西五反田2-20-1
担当部門	技術室	電話番号 0467-74-6600 FAX番号0467-74-6783
緊急連絡先	営業企画室	電話番号 03-5487-8952

## 2. 組成、成分情報 単一製品・混合物の区別：混合物 (含水ポリマー微細粒子の炭化水素系溶剤によるよ油中分散液)

化学名	化学式	官報公示整理番号		CAS NO
		化審法	安衛法	
主用成分*1	*2	6-883	6-883	25085-02-3
炭化水素系溶剤		9-1700	9-1700	64741-77-1

\*1 : アクリル酸ナトリウム・アクリルアミド共重合体



国連分類 : 危険物に該当せず

国連番号 : 危険物に該当せず

## 3. 危険有害性の要約

分類の名称 : 分類基準に該当せず

危険性 : 消防法危険物に該当せず

有害性 : 特に無し

環境影響 : 特に無し

## 4. 応急処置

目に入った場合 : 直ちに清浄な流水15分間以上洗眼後、医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合 : 清浄な水で石鹼を用いて良く洗う。

吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移動し安静を保つ。

飲み込んだ場合 : 多量の清浄な水または食塩水を飲ませて吐かせ、様子を見る。  
状況に応じて医師の処置を受ける。また、化合物名を告げる。

## 5. 火災時の措置

消火方法 : 原液及び水溶液に自然性はない。  
 周辺火災により容器が損傷し床面等に漏出した場合は、漏出時の注意事項を参照。  
 類焼の場合は容器損傷防止の為に容器外部に散水する。

消火剤 : 炭酸ガス、粉末、泡、水噴霧等

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業員は必ず保護具（ゴム手袋、保護メガネ）を着用する。

環境に対する注意事項：漏出物を調節河川や下流に流しては行けない。回収後の少量の残留物は土砂又はオガクズ等に吸収させる。残留物が極少量の場合は多量の水で洗い流す。

漏出物の除去方法：掃除具、ウエス等で除去した後、多量の水で洗浄する。  
必要に応じ、転倒防止の為に砂を撒く。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等の保護具着用と取扱い後の手洗い、洗顔、ウガイ等が望ましい。水分が混入すると部分的に増粘する為、使用時以外の水との接触を避ける。

保管 : 温度は常温下が望ましい。長期保存時の分離防止の為に適時攪拌する事が望ましい。尚、雨水などの混入を避ける。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定無し

設備対策 : 大量に扱う場合は、溶剤蒸気が発生する可能性があるため、室内の強制換気又は局所排気設備を設置することが望ましい。

保護具 : 呼吸用保護具：布／紙マスク  
保護眼鏡：着用が好ましい  
保護手袋：着用が好ましい  
保護衣：特に不要

#### 9. 物理的及び化学的性質

外観等 : 淡黄色液体  
沸点 : 100℃ (水分)  
凝固点 :  
溶解度 : 水に任意混合  
比重 : 1.05

揮発性 : なし  
腐食性 : 鉄、銅、鉑金を腐食  
通常ゴム、PE、PPを膨潤  
導電性 : なし

#### 10. 安定性及び反応性

引火点 : 100℃まで認められず(ペンスキーマルテンス)  
発火点 : 無し  
爆発限界 : 無し  
可燃性 : 無し  
発火性 (自然発火性、水との反応性) : 無し  
酸化性 : 無し  
自己反応性・爆発性 : 無し  
粉塵爆発性 : 無し

安定性・反応性 : 通常の取扱いでは安定  
 その他 : 特に無し

## 11. 有害性情報 (人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性 : 無し  
 刺激性(皮膚、目) : 目に対し一過性の刺激あり  
 感 作 性 : 認められず  
 急性毒性 : LD50 マウス雄、雌共に2,000mg/Kg 以上  
 亜急性毒性 : データなし。  
 慢性毒性 : データなし。  
 癌 原 性 : データなし。  
 変 異 原 性 (微生物、染色体異常) : データなし。  
 生殖毒性 : データなし。  
 催奇形性 : データなし。  
 その他 : 特になし

## 12. 環境影響情報

分 解 性 : 遅い  
 蓄 積 性 : なし  
 魚 毒 性 : LC50 48Hrs (海水中ヒメダカ) 1,100mg/l  
 そ の 他 : ポリマーは懸濁固体に吸着し速やかに水系から除去される。

13. 廃棄上の注意 : 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物業者に処分を委託する。  
 溶解液は排水処理装置へ少量ずつ投入処理。

14. 輸送上の注意 : 容器に破損がない事を確かめた後、転倒、落下、荷崩れ等による損傷により、漏出がないよう積載、荷下ろしに十分注意する。又、輸送時には雨に当てないように処置をする。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法 (特化則、有機則、表示物質) : 該当せず  
 消防法 (危険物) : 該当せず  
 毒物及び劇物取締法 : 該当せず  
 危険物船舶運送及び貯蔵規則 : 該当せず  
 海洋汚染防止法 : 該当せず  
 化学兵器禁止法 : 該当せず  
 内分泌攪乱物質 : 含有せず  
 P R T R 法 : 該当せず

## 16. その他

特になし